

出資法人等「経営改革計画評価表」

1. 団体の基礎情報(平成22年4月1日現在)									
団体名	財団法人うつのみや文化創造財団 (旧文化会館管理公社)			設立年月	平成21年4月(昭和54年3月)				
所在地	宇都宮市明保野町7番6号			代表者	理事長 伊藤文雄				
ホームページアドレス	http://www.bunkakaikan.com/				市所管課	教育委員会 文化課			
基本財産(資本金)	110,000千円	主な出資者	出資額		出資割合				
市出資額	110,000千円	—	—		—				
市出資割合	100.0%	—	—		—				
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を支援することにより、地域文化の振興と魅力ある市民文化の創造に寄与することを目的とする。								
2. 団体の組織・人員情報(平成22年4月1日現在)									
役員職数	役員数	理事	—	—	—	—	—	—	—
	監事	—	—	—	—	—	—	計	—
	職員数	常勤	うち市OB	うち市派遣等	非常勤	うち市OB	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	合計	—
常勤役員の平均年齢(歳)	—	常勤役員の平均年収(千円)	—		常勤職員の削減数(対19年度当初比)	—			
常勤職員の平均年齢(歳)	—	常勤職員の平均年収(千円)	—		常勤職員の削減率(対19年度当初比)	—			
評議員会の有無	有	包括外部監査の対象の有無	有	議会への報告の有無	有				
情報公開制度の有無	有	個人情報保護体制の有無	有						
3. 経営改革に関するこれまでの取組(平成16~18年度の3年間の主なもの)									
<p>①サービス向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用等の受付時間の延長、早朝等に於ける時間外利用の弾力的な運用、ホールナビゲーターを導入した利用者へのサポート、HPに施設の空き情報の掲載等 総合案内・プレイガイドの直営化による業務内容の充実 <p>②教育普及事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種文化団体との協働事業の充実、若手演奏家への発表の場の提供、文化活動をしている団体への支援等 <p>③自主事業の収支率状況(収支率:入場料/総支出額)</p> <ul style="list-style-type: none"> 18年度収支率 90%(6位/1,047館) 19年度収支率 111%(1位/1,092館) 20年度収支率 90.1%(7位/1,111館) <p>※データ出所:(社)全国公立文化施設協議会 全国調査集計から</p>									
4. 経営改革計画の取組結果等(平成22年4月1日現在)									
No	改革項目	改革目標	取組結果(19~21年度)						
1	公益事業比率(支出ベース)の向上	21年度末 50%	19年度末 16.0% 20年度末 16.4% (国の公益法人制度改革を踏まえ、平成20年度決算から算出方式を変更) 21年度末 15%(財団全体の割合61.5%)						
2	事業経営の評価	21年度 事業評価制度(マネジメントシステム)の実施	・自主事業の評価制度の検討 ・貸館事業の評価制度の検討						
3	鑑賞型事業の充実	21年度 ・事業数32事業 ・入場者数35千人	19年度:事業数37事業,入場者数42,774人 20年度:事業数44事業,入場者数57,553人 ※鑑賞型事業から育成事業の充実への転換を図るため、改革目標値が現状より低下している。 21年度:事業数20事業,入場者数26,302人						

No	改革項目	改革目標	取組結果(19~21年度)
4	教育普及事業の充実	21年度 ・事業数23事業 ・入場者・参加者数18千人	19年度：事業数22事業，入場者・参加者数23,497人 20年度：事業数20事業，入場者・参加者数21,859人 21年度：事業数20事業，入場者・参加者数25,693人
5	貸館事業の充実	21年度 ・全施設利用率85% ・利用者数56万人	19年度：全施設利用率81%，利用者数520,530人 20年度：全施設利用率81%，利用者数545,327人 21年度：全施設利用率81%，利用者数524,455人
6	基金事業の経営	19年度～21年度 ・20事業 ・収支率100%（3年平均）	19年度：25事業，収支率163% 20年度：24事業，収支率186% 21年度：26事業，収支率82.0%
7	市財政負担額の適正化①（補助金）	21年度末 適正化	19年度決算 14,656千円 20年度決算 15,021千円 21年度決算：10,029千円（財団としての金額）
8	市財政負担額の削減②（指定管理料）	21年度末 5%削減	19年度決算 377,250千円 20年度決算 389,396千円 21年度決算：391,736千円
9	市財政負担額の適正化③（委託料）	19年度～21年度の受託事業実績 ・35事業（3年平均） ・収支率70%（3年平均）	19年度：34事業，収支率81.0% 20年度：40事業，収支率79.1% 21年度：40事業，収支率76.6%
10	特定外収入の増収	21年度末 50%増収	19年度末：9,591千円 20年度末：11,579千円 21年度末：9,373千円
11	団体の常勤役員数の削減（市派遣等は除く）	21年度末 23人体制の維持	19年度末：24人体制 20年度末：23人体制 21年度末：23人体制
12	組織経営の活性化	(21年度末) ・評議員会の設置 ・民間理事の登用率67%	20年度：評議員会未設置，民間理事の登用率22% 21年4月からの財団統合により評議員会を設置，民間理事登用率を引き上げ 21年度：民間評議員登用率95%，民間理事登用率60%
13	組織の活性化	組織の見直しによる活性化	・グループ制の実施
14	情報公開の推進	積極的な情報公開の推進	役員名簿や財務状況等については，ホームページ等で適宜情報公開している。
15	財団経営の透明化	積極的な情報公開の推進	ホームページ等で適宜情報公開している。

※平均年齢，平均年収，削減数の計算に当たっては，市からの派遣職員等は除いています。

5. 財務状況						
項目	単位	平成18年度 (決算)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (決算)	
I. 貸借対照表						
A 資産合計(①+②)	千円	255,706	341,471	389,815	413,162	
①流動資産	千円	83,265	131,119	145,628	137,297	
②固定資産	千円	172,441	210,352	244,187	275,865	
B 負債合計(③+④)	千円	191,557	254,932	286,000	290,603	
③流動負債	千円	77,523	124,167	138,314	126,320	
④固定負債	千円	114,034	130,765	147,686	164,284	
うち有利子負債	千円	0	0	0	0	
うち損失補償契約に係る債務残高	千円	0	0	0	0	
C 負債及び正味財産の合計(B+⑤)	千円	255,706	341,471	389,815	413,162	
うち正味財産(⑤)	千円	64,149	86,539	103,815	122,560	
II. 収支計算書						
D 収入合計(⑧+⑨)	千円	492,737	587,189	578,372	577,917	
⑥事業収入	千円	483,443	566,036	553,140	538,739	
⑦事業外収入	千円	371	0	4,204	17,071	
⑧当期収入合計(⑥+⑦)	千円	483,814	566,036	557,344	555,810	
⑨前期繰越収支差額	千円	8,923	21,153	21,028	22,107	
【補足項目】⑩収入合計に占める市財政負担額	千円	358,057	391,906	404,417	402,399	
うち補助負担金	千円	3,066	14,656	15,021	10,029	
平成18年度ベースの補助負担金	千円	3,066	14,656	15,021	10,029	
新たに増加した補助負担金	千円		0	0	0	
補助負担金の削減率(対18年度比)	%		+378.0	+389.9	+227.1	
うち委託料(指定管理料を含む。)	千円	354,991	377,250	389,396	392,370	
平成18年度ベースの委託料	千円	354,991	377,250	389,396	392,370	
新たに増加した委託料	千円		0	0	0	
委託料の削減率(対18年度比)	%		+6.3	+9.7	+10.5	
E 支出合計(=⑪+⑭+⑮)	千円	470,722	566,161	546,305	544,378	
⑪事業支出	千円	99,056	112,138	104,985	102,655	
うち自主事業支出(⑫)	千円	13,034	21,522	8,375	21,107	
うち公益事業支出(⑬)	千円	86,022	90,616	89,455	81,548	
⑭管理費支出	千円	371,666	416,180	403,370	402,469	
⑮その他の支出	千円	0	37,843	37,950	39,254	
【補足項目】⑯支出合計に占める人件費総額	千円	240,915	230,740	258,154	249,374	
F 当期収支差額(⑧-E)	千円	13,092	125	11,039	2,029	
G 次期繰越収支差額(D-E)	千円	22,015	21,028	32,067	24,136	
III 財務指標						
収支比率(⑧/E)	%	102.8%	100.0%	102.0%	100.5%	
自主事業比率(⑫/⑪)	%	13.2%	19.2%	8.0%	20.6%	
公益事業比率(⑬/E)※	%	18.3%	16.0%	16.4%	15.0%	
市財政負担比率(⑩/D)	%	72.7%	66.7%	69.9%	69.6%	
人件費比率(⑯/E)	%	51.2%	40.8%	47.3%	45.8%	

6. 団体の評価・今後の課題

【評価】

自主事業は、事業数・収支率とも全国上位(全国1,111館 平均:事業数12本, 収支率57.2%)にあり, 文化芸術の推進と市民福祉の増進に寄与している。また文化団体との協働事業の実施, 文化団体への支援などの教育普及事業にも積極的に取り組んでいる。長年培った職員の経験と知識を基に, 施設の管理運営を適正に行うほか, 「快適な施設環境の提供」, 「利用者サービスの向上」に努めながら, 利用者満足度の向上及び管理経費の削減に積極的に取り組んでいる。

【今後の課題】

経営改革計画に掲げた「公益目的事業比率の向上」「教育普及事業の充実」を推進し管理運営体制の強化を図る必要がある。公益法人制度改革に伴い, 「公益財団法人」の認定取得が必須である。

7. 所管部局の評価・今後の課題

【評価】

利用者サービスの向上に努めた結果, 収支率も全国上位にあり, 適切な施設管理を行っている。また, 自主事業の実施においては, 平成21年4月にうつのみや文化の森と財団統合したことを機に, 両財団の擁する舞台芸術と美術を融合した事業として, 企画展「栄光のルネサンスから華麗なロココ」開催期間中に, チェンバロの演奏会「ミュージアムコンサート」の開催や, 参加者に舞台の裏側を体験させる「会館体験ツアー」や中学校に小編成のオーケストラを派遣し, 生の演奏を聴かせる「中学校おでかけコンサート」を開催するなど, 新規事業に取り組み, 積極的な事業展開を行っている。

【今後の課題】

更なる地域文化の振興と魅力ある市民文化の創造に寄与するため, 公益財団法人への認定取得を目指す必要がある。